

加納虹輝さん(エペ個人・金、団体・銀) 松山恭助さん(フルーレ団体・金)

パリ
オリンピックで
大活躍!

盛大に祝勝会を開催!

2024年夏のパリオリンピックでは、すでに皆さんもご存じのように加納さん、松山さん両選手が大活躍を見せてくれました。伝統あるグランパレ会場でアウエーの中、強豪のヨーロッパ勢を相手に日本フェンシングの実力を見せつけるパフォーマンスを披露、見事に金メダルを獲得しました。加納さんはエペ個人で金、団体で銀。松山さんはフルーレ団体で金メダルに輝きました。日本代表選手団としては、複数メダル獲得が目標でしたが、女子団体も奮闘し、フルーレ団体とサーベル団体で銅メダルを獲得、合計で5個のメダル

獲得となり、日本フェンシング界にとっては歴史的な大会となりました。加納さん、松山さん両選手は帰国してから様々なメディアへの出演など、忙しい日々でしたが、10月26日に西早稲田キャンパス大隈会館で行われた稲光会主催の祝勝会にはそろって出席し、大会での様子や今後の抱負も語ってくれました。祝勝会には田中総長をはじめ、稲門体育会・河野会長、競技スポーツセンター・石井所長も来賓で出席され、総勢130名を超える参加者で盛大に行われました。地方からの会員や家族連れも多く、特に若手会員の参加は

近年にないほどの数で加納さん・松山さんとのトークセッションやクイズ大会もあって会場は和気あいの楽しい会となり、子どもたちにとってはメダルを触ったり、メダリストのサインをもらったりと特別な時間となりました。加納さん、松山さんは早くも4年後のロサンゼルスオリンピックへと目標を定めており、これからの活躍にも目が離せません。大いに注目して応援しましょう。(会長・平野健一)



R2卒・加納虹輝



H31卒・松山恭助



堀井監督後期講評 「挑戦と成長」



戦績

2024年度後半、早稲田大学フェンシング部は多くの大会に挑み、確かな成長を遂げました。インカレ個人では、女子サーベルの山崎妃奈乃(法1)が3位に輝きました。一方、団体では、女子フルーレ・女子サーベルの4位が最高と、悔しい結果となり、チームとしての戦力を上げるという課題がはっきりとしました。早稲田がホストを務めた早慶戦では、得失点差で総合優勝を果たしました。森多舞(スポ4)早川葵彩(スポ2)沼田美咲(政経1)の女子フルーレは45-14と圧倒的な勝利を収め、試合の流れを大きく引き寄せていました。また、JOCジュニア・オリンピック・カップでは、女子エペの太田陽詩(スポ1)、女子サーベルの板橋香葉子(社1)が2位、男子エペの圓尾晃生(スポ1)が3位と表彰台を獲得しました。

コーチ体制の強化

今シーズンから、弘瀬ヘッドコーチ、安コーチ、前澤チーフマネージャーに加え、甘粕コーチ、川村コーチが新たに加わり、指導体制がさらに強化されました。甘粕コーチは冷静に試合を運ぶためのメンタル面の強化に尽力し、川村コーチは現役日本代表としての経験を活かし、フルーレの技術力向上に貢献してくれています。

マネージャーの活躍

マネージャー陣の支えも欠かせないものでした。マネージャーが積極的に声を上げ、部としてVIVASEDAや東伏見スポーツフェスティバルにボランティアとして参加しました。チームの結束を深めながら、大学への貢献にも力を入れてきました。また、早慶戦では、応援部、チアリーダー、吹奏楽団との連携を初めて実現し、選手たちの士気を大きく高めました。フェンシング早慶戦としては異例の盛り上がりとなり、選手たちは「応援の力が背中を押してくれた」との声が多く聞かれました。

予算の見直し

遠征の増加に伴い、限られた予算をどう効率的に活用するかが課題となっています。支出を抑えられる部分は最大限削減しつつ、道具のメンテナンス、強化合宿や対外試合への遠征費の確保をしました。選手たちが競技に集中できる環境を維持するため、今後も工夫を重ねてまいりますので、稲光会の皆様におかれましても、引き続きご支援をいただけますと幸いです。次の大きな戦いは5月8日から始まるリーグ戦です。気を緩めることなく、チーム一丸となって鍛錬を積んでまいりますので、来シーズンも、皆様の変わらぬご声援をどうぞよろしくお願いいたします。





早稲田の地で「荒ぶる」早慶戦2年連続総合優勝!! 森多副将に早慶戦インタビュー

——今年は本校での開催でした。

試合会場はどんな雰囲気でしたか?

今年は早稲田での開催ということで、より多くの応援を受けながら試合をすることができました。特にプラスバンドが加わったことで会場全体の熱量が一段と上がり、選手としても非常に力をもらいました。このプラスバンドを加えることが出来たのは、マネージャーの働きのおかげであり本当に感謝しています。また会場作りでは、観客が試合をより楽しめるようにレイアウトを工夫し、応援しやすい環境を整えました。

——大学の最終ステージを、

副将としてどのような思いで挑みましたか?

大学最後のステージということで、チームを支える立場として「自分が勝つこと」だけでなく、「チーム全体が最高のパフォーマンスを発揮できるように」という意識を強く持って挑みました。個人の成績はもちろんですが、それ以上に後輩たちに何かを残せる試合にしたいという思いがありました。結果として自分自身も最高のパフォーマンスをする事ができ、後輩たちの成長を強く感じる事ができました。

——女子は圧巻の試合でした。

女子の強さは何だったと思いますか?

得失点差が大きく総合優勝の勝利に貢献できたのは、選手それぞれが相手に対して的確な戦略を持って臨んだからだと思います。また、女子チームは雰囲気非常に良く、互いに信頼し合いながら戦っていたことも大きな要因だと思います。



——女子は担当種目以外の練習をどのように行ってきたのですか?

試合に向けて各自の得意種目だけでなく、担当外の種目にも積極的に取り組んでいました。特に基本的な動きや戦術理解を深めるために男子選手と多く剣を交えて練習をしました。その取り組みが試合での柔軟な対応につながったのだと思います。

——森多さんは卒業後、フェンシング続けますか?

大学での競技生活が一区切りとなります。フェンシングを通して学んだことはこれからの人生にも活かしていきたいと思っています。これからは趣味として、機会があればまた練習に参加させていただきたいと思っています。

——来年は慶應開催です。

後輩とOBOGに一言お願いします。

来年は慶應での開催となりますが、後輩たちにはぜひこの1年でさらに成長し、自信を持って試合に臨んでほしいと思います。そして、OBOGの皆さんには引き続き温かい応援をお願いしたいです。来年も素晴らしい大会になることを期待しています!



早稲田スポーツミュージアム展示のお知らせ

令和7年3月13日～5月末まで、早稲田スポーツミュージアムにて、フェンシング部の展示が行われております。今回は部の歴史とフェンシング競技の説明展示となりましたが、2回目の今回は「オリンピック」をテーマに行います。1988年ソウルオリンピック出場の出野晴信さん(H4卒)、1996年アトランタオリンピック出場の田中(旧姓)奈々絵さん(H9卒)、そして、2021年東京オリンピック、2024年パリオリンピック連続出場の松山恭助さん、加納虹輝さんの足跡を写真パネルで解説し、実際に使用されたマスク、剣、ユニフォームなどを展示します。パリオリンピックでの活躍が記憶に新しいですが、ぜひOBOGの皆さん、現役選手の皆さん、足を運んでみてください。

場所:早稲田大学戸山キャンパス早稲田アリーナ3階、早稲田スポーツミュージアム
期間:3月13日～5月末 10:00～17:00
水曜ほか休館
詳しくは、早稲田スポーツミュージアム-早稲田文化



戦績 ※個人8位以上

第77回 全日本フェンシング選手権大会

9月14～16日

女子エペ 6位 太田陽詩

牧杯ジュニアフェンシング選手権大会

9月21～22日

女子フルーレ 準優勝 沼田美咲
女子サーブル 3位 板橋香菜子
6位 山崎妃奈乃

2024年関東学生フェンシング選手権大会

10月2～4日

個人 女子フルーレ 6位 森多 舞
女子サーブル 5位 山崎妃奈乃
男子エペ 3位 中本尚志
男子サーブル 5位 田中智也

団体 女子フルーレ 4位
女子エペ 5位
女子サーブル 準優勝
男子フルーレ 7位
男子エペ 5位
男子サーブル 7位

第74回全日本学生フェンシング選手権大会

11月13～17日

個人 女子フルーレ 5位 森多 舞
女子サーブル 3位 山崎妃奈乃
6位 板橋香菜子
男子エペ 5位 中本尚志
男子サーブル 8位 佐藤悠雅

団体 女子フルーレ 4位
女子エペ 8位
女子サーブル 4位
男子フルーレ 15位
男子エペ 5位
男子サーブル 8位

第77回全日本フェンシング選手権大会団体戦

11月13～17日

女子フルーレ 9位
女子エペ 8位
女子サーブル 7位



第32回JOCジュニア・オリンピック・カップ・フェンシング大会

1月11～12日

女子フルーレ 5位 沼田美咲
女子エペ 準優勝 太田陽詩
6位 西岡瞳
女子サーブル 準優勝 板橋香菜子
男子エペ 3位 圓尾晃生

OBOG 近況報告

S57卒

内田敏朗さん

日本フェンシング協会
専務理事に
就任致しました!



24年11月、フェンシング協会の社員総会と理事会に置いて理事が改選され、我が部の前監督であり昭和57年卒の内田敏朗さんが、協会の「専務理事」に就任致しました。会長は千田会長が再任しております。これまで同協会は17人体制でしたが、退任6人、新任9人で、20人体制となり、内田さんは公益社団法人としての日本フェンシング協会を、経営の立場から支えることとなりました。ご活躍を祈念しております!

創部79年目三役の紹介

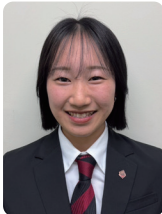
主将 竹内隆晟 タケウチリュウセイ

主将としても選手としても日本一を目指して、泥臭く、粘り強く走り切りたいと考えています。稲光会の皆様のご期待に添えるよう日々精進してまいります。



副将 伊藤花乃 イトウカノ

今年度、副将を務めさせていただき伊藤花乃と申します。私は、怪我で今年度の試合出場は難しい状況です。選手としてではなく裏方としてチームのサポートに努めます。



主務 小川梨花 オガワリナ

今年度からマネージャーはひとまず私1人となります。まだまだ私自身未熟ですが、仲間を頼りながら円滑に部の運営が進むよう努めます。今後ともご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



春の合宿お疲れさまでした!!

令和7年3月8日から12日にかけて、ホテルジャーニロード(〒314-0408 茨城県神栖市波崎8614)にて春合宿を行いました。夜間にも練習の時間を設けるハードな内容でしたが、力を合わせて乗り切りました。フェンシングの上達はもちろん、部員同士の絆も深まった有意義な合宿となりました(新主将・竹内)



おくやみ

石黒幸治さん 昭和33年卒

2024年8月逝去 享年89

遠藤聡一さん 昭和58年卒

2024年10月逝去

2025年度 稲光会費納入のお願い

毎年、稲光会費をお支払いいただいている会員の皆様には厚くお礼申し上げます。さて、先般から財政難の状況をお伝えしてきておりましたが、24年度も目標の会費納入者数130名に到達しませんでした。支出の種類を大きくまとめると「現役員活動支援金」、「稲光会活動経費」、「関連団体経費」と3種類に分かれますが、このままでは「現役員活動支援金」から予算を圧縮することを検討せざる負えない状況でございます。持続可能な部にするためには先輩方ひとり一人の協力が必要不可欠です。改めて財政難をご理解いただきまして、会費の納入をお願いいたします。なお、80歳以上の会員は会費免除です。

稲光会費:12,000円

振込先:みずほ銀行日本橋支店
普通口座 2424751 早稲田大学稲光会

試合結果はこちらから

早稲田スポーツ
新聞会
「フェンシング部」



早稲田大学
稲光会
Facebook

